

## デイキャンプ用プロトコル：付録 K

注：本文書は頻繁に更新されます。最新版は、ウェブページの日付をご確認ください。

### 最近の更新

6/16/22

- COVID-19感染者との接触通知方法がオンラインでの安全なウェブアプリケーション、SPOT（アウトブレイク追跡の共有ポータル）に変更されました。
- 体育館屋内の換気に関するCOVID-19予防最善策へのガイダンスが追加されました。

4/14/22

- 症状のスクリーニングと定期的な検査に関する強く推奨する事項について簡単な説明が加えられました。

COVID-19の症例率、入院数、死亡数は冬期の急増後著しく減少しましたが、COVID-19は地域社会、特に感染した場合に重症化しやすい、後遺症を起こしやすい人々（高齢者、免疫不全症の方、特定の基礎疾患のある方、およびワクチン未接種者を含む）にリスクをもたらし続けています。私たちの中で最も弱い立場の方々を保護するために、誰もがウイルス拡散のリスクを減らすための予防策を引き続き講じる必要があります。以下のガイダンスはデイキャンプに特化したものであり、その場における疾病の伝播と集団発生リスクを減らすように設計されています。なお、デイキャンプなどのビジネスは、郡の命令で義務付けられているものよりも厳しい安全要件を自由に課すことができます。

注：本文書は、追加情報やリソースが入手され次第更新されることがあるため、定期的にロサンゼルス郡のウェブサイト <http://www.ph.lacounty.gov/media/Coronavirus/> にアクセスして、本文書及び関連したガイダンスが更新されていないかご確認ください。

### 本チェックリストの内容

- 職場における従業員の健康を保護するための方針と実践
- 可能な場所では物理的距離を確保するための措置
- 感染管理を最適化するための措置
- 従業員及び市民とのコミュニケーション
- 重要なサービスへの公平なアクセスを確保するための対策

施設が再開手順の作成に取り組む際、これら5つの重要点を考慮する必要があります。

本ガイダンスの対象となるすべてのデイキャンプは、実行可能な限り、以下に記載されている適用可能な措置を可能な限り多く実施する必要があります。複数の緩和戦略を重ねることが、プログラムと施設の安全性を最適化する最善の方法です。

デイキャンプ名：

---

施設住所：

---

## A. 職場における従業員の健康を保護するための方針と実践（施設に該当するものをすべて選択）

- すべての従業員（有給のスタッフとボランティアを含め総称して「従業員」と呼ぶ）は体調が悪い場合、出勤しないよう指示されている。COVID-19と一致する症状を新たに発症した場合は、FDA認定のCOVID-19検査を用いた診断検査を受けることが強く推奨される。これには、自分で検査を行う市販検査が含まれることがある。検査結果が陽性であった場合、または医師からCOVID-19感染の疑いがあると診断された場合は、公衆衛生局(DPH)の自己隔離の指示に従わなければならない。医師の診察を受けていない、または検査を受けていないが症状のある従業員は、10日間の隔離を行わなければならない。
- 従業員が病気で自宅にいるときは、罰せられることがないように、職場の休暇制度が見直され、修正されている。
- すべての従業員（有給の従業員とボランティア）に、COVID-19ワクチン接種およびブースター接種などの現時点で受けられるワクチン接種の全てを受けよう強く促す。
- キャンプで長期間勤務する従業員を雇っている雇用主は、他の従業員、サポートスタッフ、または参加者とやり取りをする可能性のあるすべての従業員に毎週検査を提供する従業員向けCOVID-19検査プログラムの作成を検討する。現時点で受けられるCOVID-19ワクチン接種を全て受けていない労働者に対する検査を優先すること。
- 従業員一名でもCOVID-19検査で陽性反応を示したとの報告を受けた場合、雇用主は直ちに感染者に隔離を促し、その従業員に職場で感染者に接触したために自宅待機が義務付けられるすべての従業員が公衆衛生命令に基づいて職場復帰が許可されるまで、出勤しないようにする計画または手順を準備している。詳細は、[職場における COVID-19への対応](#)を参照のこと。雇用主の計画では、追加のCOVID-19管理対策が必要となるような職場でウイルスへの曝露があったかどうかを判断するために、すべての従業員に対してCOVID-19検査を実施する、または検査の手配をする手順を検討する。雇用主の計画では、追加の症例の有無を早期に特定するために、感染者と接触したすべての従業員がCOVID-19検査を受けることができ、追加のCOVID-19管理措置が必要になる可能性のある更なる職場における曝露があったかどうかを判断するための手順を検討する。
- 従業員、他のサポート担当者、および訪問者が職場に入る前に、入場時のスクリーニングの実施が強く推奨される。Cal / OSHAは、雇用主が職場に入る前にCOVID-19の症状について従業員をスクリーニングするプロセスの作成および実施を義務付けている。スクリーニングに関する詳細とオプションについては、[DPHの入場時のスクリーニング](#)の文書を参照のこと。キャンプは、職場に入る前または職場にいる間にスクリーニングで症状が陽性であると判定された人のために、[TK-12 学校における従業員向け症状判断経路](#)のガイダンスに従うことができる。スクリーニングには、診断経路に記載されている考えられるCOVID-19感染症と一致する症状、その個人が現在隔離または待機命令下にあるかどうか、及びCOVID-19ウイルス感染者への接触の有無に関する確認を含める必要がある。これらの確認は、到着前に遠隔操作で実行することも、従業員の到着時に直接行うこともできる。
- デイキャンプは、発症日前14日以内のいずれかの時点でその場にいたCOVID-19感染が確定されたすべての個人について、公衆衛生局に通知することが義務付けられる。発症日は、COVID-19の症状が現れた日、またはCOVID-19検査日のいずれか早い方とする。
- オンラインによる報告は、公衆衛生局に施設におけるCOVID-19への曝露を通知する上で推奨される方法であり、コンピューターまたはモバイルデバイスから、安全なウェブアプリケーション、SPOT（アウトブレイク追跡の共有ポータル）から行う：[https://spot.cdph.ca.gov/s/?language=en\\_US](https://spot.cdph.ca.gov/s/?language=en_US)。複数の症例を報告する場合、施設はSPOTポータル上の「複数アップロードテンプレート」を使用してそれらの報告書を提出できる。すべての症例の通知は、症例の報告を受けてから1営業日以内に送信する必要がある。
- 14日間以内に施設内で3件以上の症例が確認された場合、雇用者はこのクラスターの発生を公衆衛生局に上記の方法で直ちに報告する。公衆衛生局はデイキャンプと協力して、このクラスターが公衆衛生の集団発生調査を必要とする集団発生であるかどうかを判断する。
- 要求に応じて、すべてのキャンプ従業員にアップグレードされたマスクを提供する要件：従業員は屋内でサージカルマスク（医療用マスクとも呼ばれる）またはより高レベルのPPE（KN95またはN95高性能マスクなど）を着用することが強く推奨されるが、必須ではない。サージカルマスクを着用している場合は、保

護を強化するために、サージカルマスクの上に布製のフェイスカバーを着用する二重マスクが推奨される。雇用主は、要求に応じて、勤務中に屋内で他者と接触する従業員が自発的に使用できるように良くフィットする医療用マスクや高性能マスクを無料で提供する。CAL/OSHAは、屋内または共有車両で作業しているワクチン未接種の従業員に対し、自発的なマスクの使用のため、要求に応じて雇用主が高性能マスクを提供することを義務付けていることに注意すること。

- ドアを閉じたプライベートオフィスで一人で作業する場合や飲食をする場合を除き、屋内では常にマスクを着用することを強く推奨されるが、必須ではない。
- 複数の従業員が食事や休憩に使用する部屋やエリアは、以下の対策を実施することにより実現可能な限り収容人数を減らし、従業員間のスペースを最大化することが推奨されている。
  - 休憩に使用する部屋またはエリア内で個人間の距離を少なくとも 6 フィート確保することができる最大収容人数を掲示する。かつ
  - 食事や休憩に使用する部屋や場所の収容人数を減らすために、休憩や食事の時間をずらす。
  - テーブルを 8 フィート離して配置し、座席間の距離 6 フィートを確保するようにする。収容人数を減らすために座席を取り除くか椅子にテープを貼る、距離を確保するために床に目印を付け、対面での接触を最小限に抑えるように座席を配置する。仕切りの使用は、拡散をさらに防ぐために推奨されるが、収容人数を減らし、物理的距離を確保することの代替と見なすべきではない。
- トイレやその他の共用エリアは頻繁に清掃し、運営時間中は1日1回以上、以下のスケジュールで清掃している。
  - トイレ \_\_\_\_\_
  - その他 \_\_\_\_\_
- 従業員が利用できる消毒剤および関連用品は以下の場所に常備している:  
\_\_\_\_\_
- 従業員が利用できるCOVID-19に対して効果的な手指消毒液は以下の場所に常備している:  
\_\_\_\_\_
- 従業員には頻繁に手を洗うよう注意喚起する。
- 各従業員に本手順のコピーを配布している。
- スタッフの欠勤を確認し、可能な場合は訓練を受けたバックアップスタッフの名簿を用意する。
- 本チェックリストに記載されている、雇用条件に関連するもの以外のすべてのポリシーは、第三者として敷地内にいる可能性のある配達員やその他の会社にも適用されている。
- オプション - その他の対策の説明。  
\_\_\_\_\_

## B. 可能な場所では物理的距離を確保するための措置

### 到着・出発

- 輸送車両（バスなど）がキャンプで使用されている場合、ドライバーは、他のスタッフに指示されているすべての安全措置と手順（手指の衛生、マスク、物理的な距離など）を実践する必要がある。
  - 運転手と乗客にはマスクの着用が強く推奨されるが、必須ではない。
  - 車内の換気を良くするために、すべての窓をできるだけ開放する。車両に乗客がいる間は、再循環空気オプションの使用を避ける。車両の通気口を使用して、新鮮な外気を取り入れるようにする。

- ❑ 2歳以上のすべてのキャンパー、スタッフ、および訪問者は、屋内でマスクを着用することが強く推奨されるが、必須ではない。2~8歳の子供は、大人の監督下でマスクを着用しなければならない。
- ❑ 可能であれば、家族のスケジュール上の過度な影響を与えることなく、混雑を軽減するために到着時間と出発時間、及び場所をずらす。

### レクリエーションスペース

- ❑ 水泳、昼寝、飲食中を除き、キャンプ中はすべての訪問者とキャンパーが屋内でアップグレードされたマスクを着用することが強く推奨されるが、必須ではない。少なくとも、マスクは布製ではなく、ノーズワイヤーを備えた多層からなる不織布素材のフィット感のあるものである必要がある。（ろ過効率の高い（ASTM F3502-レベル2）のASTM規格に適合する布製マスクはアップグレードしたマスクの推奨事項にも適合する。）詳細は、[ph.lacounty.gov/masks](https://ph.lacounty.gov/masks)を参照のこと。この推奨事項は、すべての大人と2歳以上の子供に適用される。従業員、キャンパー、訪問者の安全をサポートするために、キャンパーや訪問者が到着時にマスクを所持していない場合やマスクを要求する場合に利用できるマスクを用意することを検討する。
- ❑ 座席、机、寝具の間のスペースを最大化する。
- ❑ 不要不急の訪問者やボランティアは最小限に抑える。
- ❑ 晴天の場合の屋外スペースの定期的な使用、カフェテリアや物理的距離を確保できるその他の広い屋内スペースの使用を含め、必要に応じて代替スペースを使用する。
- ❑ 激しい運動や歌などの呼吸飛沫が発生する活動については、混雑を避けるために個人間の距離を広げ、可能であれば、これらの活動は屋外で行う。
- ❑ 床や歩道へのテープの貼付や壁の看板などの物理的な目印を提供して、キャンプのスタッフや参加者が列に並んでいるときやその他の時間に混雑しないようにする（例、廊下や食堂で「一方通行のルート」を作るための方向を示す印）。

### 食事

- ❑ 可能であれば、参加者とキャンプスタッフに、屋外または換気の良い場所でできる限り広く物理的距離を保ちつつ、食事や軽食を取らせる。
- ❑ 屋内の共同の食堂で食事を提供する場合は、物理的距離を確保し、換気を高めるための対策を講じることが推奨される。

## C. 感染管理対策

- ❑ COVID-19に関する懸念への対応をする責任者（キャンプの看護師や医療従事者など）を指定する。すべてのキャンプスタッフとご家族は、責任者の名前と連絡先を把握していること。責任者は、症例の報告を受けてから1営業日以内に、サイトでのすべてのCOVID-19症例について地元の保健当局に通知するために、可能性のある曝露の文書化と追跡を調整できるように訓練を受ける必要がある。
- ❑ スタッフと手指消毒剤を安全に使用できるキャンパーの健康的な衛生行動をサポートするために、石鹸、ティッシュ、非接触型ゴミ箱、および、エチルアルコール濃度60%以上の手指消毒剤などを含む供給を十分確保する。
- ❑ 以下の個人でできる感染防止対策についてキャンプ参加者を指導する。
  - 食事の前後、咳やくしゃみの後、外出後、およびトイレの使用後に定期的に手を洗う
  - 目、鼻、口に触れない
  - 咳やくしゃみをする際に鼻と口を覆う
  - ティッシュで鼻を拭き、ティッシュまたは肘の内側で咳・くしゃみをする

- ❑ キャンプスタッフとキャンパーが定期的なずらした時間帯での手洗いを可能にする日課を検討する。
- ❑ キャンパーとスタッフは、石鹼で20秒間手を洗い、石鹼をつけてから念入りにこすり、ペーパータオル（または使い捨ての布タオル）を使用して手を完全に乾かす。
- ❑ スタッフは手洗いの手本を示し、実践する必要がある。たとえば、若いキャンパーの場合は、トイレの時間を利用し、健康的な習慣を強化し、適切な手洗いを監督する。
- ❑ キャンパーとスタッフは、手洗いができない場合は手指消毒剤を使用する必要がある。消毒剤は完全に乾くまで手でこすること。注：特に手が汚れている場合は、こまめな手洗いの方が手指消毒剤の使用よりも効果的である。
- ❑ 9歳未満の子供は大人の監督の下で手指消毒剤を使用する必要がある。誤飲した場合は中毒事故管理センター（1-800-222-1222）に連絡する。エチルアルコール性手指消毒剤が推奨されており、監視されていない子供が使用する可能性のある場合に使用する。イソプロピル手指消毒剤は毒性が高く、皮膚から吸収される。
- ❑ 周囲に他の人がいる場合は、すべての屋内スペースでマスクを着用することが、公衆衛生局から強く推奨されていることをキャンパーに通知する。
- ❑ 水飲み場が利用可能になる場合がある。レジオネラ症や水に関連するその他の病気のリスクを最小限に抑えるために、施設の長期間閉鎖後のすべての給水システムと機能（水飲み場、装飾用噴水など）を安全に使用できるようにするための措置を講じる。これには適切な通水が含まれ、追加の洗浄手順（消毒を含む）が必要になる場合がある。長期の閉鎖または運営の削減後に建物を再開するためのCDCのガイダンス（<https://www.cdc.gov/coronavirus/2019-ncov/php/building-water-system.html>）を参照のこと。
- ❑ ドアハンドル、電灯のスイッチ、洗面所の取っ手、トイレの表面、テーブルなどの頻りに触れる物の表面、および輸送車両の表面は、定期的に清掃する。
- ❑ 洗浄剤を選択する時は、環境保護庁（EPA）承認リスト「N」のCOVID-19に対して使用が承認されたものを使用し、製品の指示に従う。これらの製品には、喘息をもつ人にとってより安全な成分が含まれている。
- ❑ ラベルに記載された適切な希釈率と接触時間の指示に従って、新興ウイルス病原体に対して効果的であると記された消毒剤を使用する。化学物質の危険性、製造元の指示、および安全に使用するための Cal/OSHA要件に関するトレーニングを従業員に提供する。
- ❑ 現場の清掃と消毒を担当する管理スタッフは、製品の指示に沿った手袋、眼の保護具、呼吸器の保護具、およびその他の適切な保護具を備える必要がある。すべての商品は子供の手の届かない場所に保管し、立ち入りが制限されたスペースに保管する。
- ❑ 清掃を行うときは、キャンパーが到着する前にスペースの換気をする。キャンパーが不在の場合は、徹底的な清掃を計画する。エアコンを使用する場合は、新鮮な空気を取り込む設定をする。エアフィルターとろ過システムを交換して確認し、最適な空気質を確保する。
- ❑ COVID-19 と屋内の空気質の改善に関する郡公衆衛生局のガイダンスに従う：  
<https://www.cdph.ca.gov/Programs/CID/DCDC/Pages/COVID-19/COVID-19-and-Improving-Indoor-Air-Quality-in-Schools.aspx>。効果的な換気は、微細粒子（エアロゾル）を介した感染を軽減するための最も重要な方法の1つである。
- ❑ 屋内スポーツを行うキャンプは、公衆衛生局の[体育館屋内の換気に関するCOVID-19予防最善策](#)も参照する。
- ❑ 窓を開けることで安全や健康上のリスクを高める場合、HVACシステムの中央空気濾過を最大化する（少なくともMERV 13のターゲットフィルター定格）など、空気の流れを改善するための代替戦略を検討する。

### キャンパーのスクリーニング

- ❑ スタッフを訓練し、キャンパーとその家族に、自宅待機すべき時、キャンプに復帰できる時期について教育する。病気のスタッフやキャンパーに自宅に留まるように積極的に促す。
- ❑ キャンプの降車場所に到着する前、またはキャンプに入場する前に、すべての参加者に対しCOVID-19の症状、およびCOVID-19の確定症例との最近の濃厚接触についてスクリーニングを実施することが強く推奨される。
- ❑ 施設は、施設に入る前のスクリーニングで症状が陽性であると判定された人について、DPHの[TK-12学校における症状の判断経路](#)に従う。過去24時間以内のCOVID-19の症状と、自宅の誰かがCOVID-19検査で陽性判定を受けていないかどうかについて全員に質問する。症状の確認は、訪問者が施設に入る前に行う。症状の確認には、判断経路に記載されているCOVID-19感染症でありうる症状と一致するものに関する確認を含める。これらの確認は、直接、またはオンラインチェックインシステムなどの代替方法を介して、またはこれらの症状のある訪問者が施設に入らないように施設の入り口に[標識](#)を掲示することで行うことができる。
- ❑ COVID-19と一致する症状を示している子供、親、介護者、またはスタッフは参加させない。
- ❑ 感染症の兆候がないか、スタッフとキャンパーを1日を通して監視する。COVID-19感染症と一致する症状のあるキャンパーとスタッフは帰宅させる。必要に応じて、自宅ではなく適切な医療施設に発症者を搬送する。
- ❑ キャンプに参加または勤務している期間中、参加者とスタッフに毎週COVID-19検査を受けることを義務付ける、または強く推奨することを検討する。市販 (OTC) の検査キットも許容される。独立した検証が利用できない場合でも、自己報告を通して伝達されるOTC検査の結果は許容される。
  - 注意：過去90日以内に検査機関で確定されたCOVID-19感染から回復し、無症状である人には、スクリーニング検査は推奨されない。

### スタッフまたはキャンパーが発症した場合

- ❑ COVID-19の症状を示す人を隔離するための隔離室または隔離エリアを特定する。発症者が帰宅の迎えを待つ間、他者との距離を保つことができる日陰の屋外スペースは、優れたオプションである。
- ❑ 2歳以上の場合、医療用マスクを着用し、マスクの装着や取り外しに問題がなく、マスクをつけたままでも呼吸がしづらく無いことを確認する。
- ❑ 症状を示しているキャンパーまたはスタッフは、できるだけ早く自宅または医療施設に搬送されるまで隔離室または隔離エリアに留まらせる。
- ❑ 必要に応じて、病人を自宅または医療施設に安全に搬送するための手順を確立する。胸部に持続的な痛みや圧迫感、混乱、または青みがかった唇や顔などの症状がある場合は、直ちに9-1-1に電話する。
- ❑ 体調の悪いスタッフとキャンパーに、症状のある人向けの[判断経路](#)に従い、キャンプ場に戻るための基準を満たすまでキャンプに戻らないようにアドバイスする。
- ❑ スタッフ、またはキャンパーがCOVID-19検査で陽性であると報告を受けた場合、施設は感染者に自宅に隔離を行うように指示し、キャンプで感染者に接触したすべての人に通知する。[症例に敬意を払う方法で曝露を管理する方法、濃厚接触者の識別と対処、報告と通知の手順のガイダンスの詳細は、TK-12ツールキットページのTK-12曝露管理計画を参照のこと。](#)施設は、公衆衛生局の[症例と濃厚接種者に関するガイダンスのページ](#)を追加のリソースとして使用することも可能。
- ❑ [スタッフに対するガイダンスの詳細については、施設はCOVID-19感染者の職場復帰に関するガイダンスを参照のこと。](#)
- ❑ 施設は、発症日前14日以内のいずれかの時点でその施設にいたCOVID-19感染が確定されたすべてのスタッフとキャンパーについて、公衆衛生局に通知することが義務付けられる。安全なオンラインによる報告

は、公衆衛生局に施設における COVID-19 への曝露を通知する上で推奨される方法であり、コンピューターまたはモバイルデバイスから、安全なウェブアプリケーション、SPOT（アウトブレイク追跡の共有ポータル）から行う：[https://spot.cdph.ca.gov/s/?language=en\\_US](https://spot.cdph.ca.gov/s/?language=en_US)。複数の症例を報告する場合、施設は SPOT ポータル上の「複数アップロードテンプレート」を使用してそれらの報告書を提出できる。全ての症例の通知は、症例の報告を受けてから 1 営業日以内に送信する必要がある。14 日間以内に施設内で 3 件以上の症例が確認された場合、雇用者はこのクラスターの発生を公衆衛生局に上記の方法で報告する。公衆衛生局はキャンプと協力して、このクラスターが公衆衛生の集団発生調査を必要とする集団発生であるかどうかを判断する。キャンプの運営者は、報告と通知に関する詳細な要件と推奨事項について、[TK-12 学校向け感染管理計画](#)を参照のこと。

- COVID-19 症例通知や感染管理手順に関して手助けが必要なキャンプは、[ACDC-Education@ph.lacounty.gov](mailto:ACDC-Education@ph.lacounty.gov) に連絡するか、月曜日から金曜日の午前 8 時から午後 5 時まで営業する TK-12 学校の COVID-19 症例通知コールセンターに電話をする。また、施設は [ACDC-Education@ph.lacounty.gov](mailto:ACDC-Education@ph.lacounty.gov) までメールすれば電話によるサポートを受けるためのコールセンターの番号を得ることができる。
- 発症者が使用した場所は閉鎖し、掃除や消毒するまで使用できないようにする。可能であれば、24 時間経過後にエリアの清掃と消毒を行う。
- 洗浄に推奨される個人用保護具の使用と換気のもと、消毒剤を安全かつ適切に塗布する。洗浄剤や消毒剤は子供の手の届かない場所に保管する。
- 地元の公衆衛生局と協議して、適切なキャンプの役人は、特定の地域内のリスクレベルに基づき、閉鎖の正当性と期間を検討することができる。

#### 共有の制限

- 各キャンパーの持ち物を分け、個別にラベルが付けられた保存容器、収納スペース、またはエリアに保管する。
- 実用的な範囲で、頻繁に触れる道具（画材、器具など）の共有を最小限に抑えるために十分な用品を確保する。
- 電子機器、衣服、おもちゃ、本、その他のゲームや学習上の支援機器をできる限り共有しない。

#### D. 一般市民とのコミュニケーション対策

- 機密性を維持しながら、スタッフとご家族が症状を自己報告し、曝露や閉鎖に関する迅速な通知を授受できるコミュニケーションシステムを確立する。
- 本手順のコピーを、施設のすべての公共の入口に掲示している。施設は、要求に応じて、参照できるように施設の現場に本手順書のコピーを保管する。
- キャンプスタッフ、参加者及び訪問者に、現行の衛生担当官命令に沿って、屋内でのマスク着用が強く推奨されることを促す看板を施設内全体に掲示している。利用者に呼吸器症状がある場合は自宅待機するよう通告する標識を掲示している。
- スタッフとキャンパーのご家族に DPH の旅行勧告のコピーを提供するか、[DPH の旅行勧告](#) のウェブサイトを紹介する。
- 施設のオンライン発信（ウェブサイト、ソーシャルメディアなど）では、COVID-19 に関する明確な情報を提供している。

#### E. 重要なサービスへの平等なアクセスを確保するための対策

- キャンパーにとって重要なサービスが優先されている。
- 移動が制限されている、または公共スペースでリスクが高いキャンパーに、サービスを保証する対策を講じている。

企業は 上記に含まれていない追加の対策は別紙に記載し、  
本文書に添付してください。

本手順に関するご質問やご意見は、下記の者までご連絡ください。

事業担当者名:

電話番号:

最終更新日:

---

---

---